

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔43〕 東京都台東区立寿児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22.4.1 ~ H27.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(23年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,801,147,502円, 支出2,609,179,684円, 収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区寿1-4-5					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC地上3階地下2階建て 遊戯室・図書室・図工室・集会室兼小遊戯室・こどもクラブ室等					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員5名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集团的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	33,698,000	37,773,000	38,579,000	42,570,000	42,568,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	33,698,000	37,773,000	38,579,000	42,570,000	42,568,000
決算	委託料	35,216,328	36,221,768	36,146,675	36,790,997	35,546,742
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	35,216,328	36,221,768	36,146,675	36,790,997	35,546,742
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
開館日数		日	334	333	334	335
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度
利用者数		人	48,000	38,458	38,552	47,144

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み				
<p>平成22年10月に1階の旧寿保育園部分に寿第2こどもクラブが開設され、3階の寿こどもクラブも合わせて2つのこどもクラブが併設された。そのため、児童館の各部屋に多くのこどもクラブの児童が遊びに出るため、一般の低学年や高学年が利用しにくくなることが無いよう、各年齢や遊ぶ目的に合わせて、部屋の使い方を明確化し、掲示を分かり易くした。その結果、幼児親子や低学年、高学年が目的別に各部屋に分散して利用し易くなり、利用者増に繋がった。</p>				
<p>8. 評価項目</p> <p>3: 協定等の水準を上回っている。 0: 協定等の水準を下回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 -: 評価対象外項目。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。</p>				
評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.1]	(a)施設の目的達成 [2] (b)サービス水準 [2] (c)職員配置 [2] (d)職員研修 [2] (e)案内・接遇 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2] (g)自主事業の成果 [-] (h)個人情報保護 [2] (i)緊急時対応 [3] (j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検 [2] (b)備品の管理 [2] (c)清掃・衛生管理 [2] (d)施設の修繕 [3]	(e)危険箇所等の確認 [2] (f)管理記録の作成・保存 [2] (g)業務委託の事前承認 [2] (h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]		
(3)利用者の満足度 平均 [2.4]	(a)利用者・第三者機関の評価 [3] (b)苦情・要望への対応と報告 [2] (c)利用者数の目標達成 [3]	(d)利用しやすい環境整備 [2] (e)関係団体・地域との関わり [2]		
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2] (b)経費縮減のための取組み [2]	(c)収支計画の達成 [2] (d)利用料等の徴収・管理 [-]		
<p>9. 評価</p> <p>S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。</p>				
評価の観点	評価	説明		
(1)事業の運営	A	図工室の活動や公園遊びを増やすと共に、遊具や絵本の充実、親子参加できる行事の実施など、子ども達の活動の幅を広げ、良好に運営されている。また、緊急時対応避難訓練を定期的に行っている。		
(2)施設の維持管理	A	平成22年度に旧保育園部分を児童館に転用する改修工事を行なったため、地下2階から3階まで、全館管理することになったが、自主的な修繕も含めて、適正に管理されている。		
(3)利用者の満足度	S	活発な遊びは地下遊戯室、幼児や静かな遊びは2階小遊戯室、また図工室の活動を増やすなど利用者の住み分けを徹底した結果、高学年の利用が増え、児童館で好きな遊びができるとのアンケート結果が出ている。		
(4)歳入歳出	A	館内に併設されている2つのこどもクラブと、職員間の連携を強化することにより児童館の人員費が減少した。また、事務分担の工夫、光熱水費の節約により、経費を削減し決算額が減少した。		
<p>10. 総合評価</p> <p>良好 妥当 要努力 要改善 不適</p> <p>妥当</p> <p>各部屋の使い方を整理し、周知することにより、利用者の年齢に合った過ごし方ができており、利用者の満足度も高い。また、地域関係機関との連携により、児童館事業への協力も得られ、様々な事業の提供ができているため、年齢で途切れることなく継続的な利用がなされている。</p>				
<p>11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応</p> <p>2つのこどもクラブの低学年児童が多いため、児童館の各部屋の混雑状況によっては、一般の児童が利用しづらい状況になりがちである。そのため、こどもクラブに在籍していない低学年から高学年の児童や、性別に配慮したプログラムの提供に引き続き努力する。</p>				